

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人京都 DARC
評価者氏名（職名）	松田 美枝（京都文教大学臨床心理学部准教授）
評価対象期間（年度）	平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合 <sup>※</sup>
事業名 回復支援事業	80%
事業名 予防啓発事業	10%
事業名 家族ケア	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供—介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

利用者の日々の活動支援やグループホーム運営、刑務所訪問やフォーラムの実施、地域の祭りへの参加やボランティア活動など、多岐にわたって活動しておられ、社会貢献の度合いは高い。何も無いところから設立して早や十数年が経過し、京都になくはない施設になった。社会からの要請に応じて様々な場で活躍されている姿は頼もしいかぎりである。

ただ、社会から要請された事業に追われるようになってくると、当初の志が見失われることも多いものである。回復を望むひとりひとりの仲間へのサポートを丁寧に行う姿勢こそ、当事者運営施設の最大の魅力であると思われるため、どれも必要な活動であると思うが、施設の在り方や優先順位を改めて整理してみられることをお勧めしたい。

また、グループホーム建設に当たっては、住民の強い反対運動に遭うなど、困難に直面しているものと思われる。そのような時にこそ、多くの社会貢献活動をして築いてきた関係を活かし、他者を頼る力が必要となる。社会からの要請に応えるばかりでなく、上手に頼れる相互関係を身につけていくことが、今後の課題であるようにも思われる。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

財務管理は透明性が保たれており、必要時には税理士や弁護士などに相談して判断を仰ぐなど、適正な処理がなされている。また、理事会や総会なども手続きを踏み、正しく運営されている。当事者運営施設では組織体制や財務管理の杜撰さが問題となることがよくあるが、京都ダルクにおいてはそのような問題点は見当たらず、むしろ一般の事業所よりも公明正大さが保たれていて、信頼のおける法人であるといえるだろう。

ただし、見方によっては良く出来すぎているともいえる。設立から十数年経過した今、当事者運営施設ならではの自由さや裁量の幅が失われていないか、設立当初の生き生きした活動が今も新鮮さを保って行われているか、改めて見直す必要があるようにも思われる。社会にとって望ましいことや、非アディクトである支援者が望ましいと考える組織運営の方に引っ張られ、当事者運営施設としての当事者性が損なわれてはいないだろうか。つまり、現在の在り方は本当に当事者が望んでいる法人の在り方なのだろうか、ということである。今一度、検討して頂きたいと思う。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況(今後対応する場合は対応予定)

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
施設の優先順位	ご指摘があった当法人の事業の優先順位に関しては、私たちも「1番大切にすべきことを大切にできているか」は時折確認する必要があることと考えています。また検討したいと思います
他機関との相互関係	グループホーム建設に関してだけでなく、積極的に他機関と相互支援関係を築いていきたいと考えています。
組織運営のありかた	当法人は、当事者性を非常に重要なものだと考えています。今後も、当事者性を大切にする運営のあり方について検討していきたいと思っています

### 備考（審査委員会のコメント）

薬物依存症者及びその家族への支援など非常に公益性の高い活動をされているが、新たな活動を行うにあたっては地域住民とのかかわりの中で難しい点もあるかと思う。今後も、条例指定・認定による税制上の優遇措置のメリットを活かしつつ、当事者支援団体の社会的認知を得るための丁寧な運営と事業の発展を期待する。